

義務教育9年間を見通した指導体制の  
在り方等に関する検討会議（第1回）  
令和2年10月7日（水）  
【資料6】

○小学校における教科等の担任制の実施状況【平成30年度計画】

(複数回答)

学年		教科	国語 (書写を除く)	書写	社会	算数	生活	理科	音楽	図画 工作	家庭	体育	外国語 活動
第1学年	全国		1.1%	6.6%		1.5%	0.8%		12.2%	4.3%		6.1%	
	群馬県		0.3%	6.9%		0.3%	0.3%		14.1%	4.6%		8.2%	
第2学年	全国		2.3%	13.5%		2.5%	1.6%		20.7%	9.8%		7.4%	
	群馬県		2.3%	21.6%		1.3%	1.0%		43.0%	13.1%		9.2%	
第3学年	全国		2.4%	26.8%	6.0%	5.1%		21.6%	40.6%	16.8%		7.7%	11.3%
	群馬県		6.2%	37.7%	12.1%	8.2%		35.1%	71.8%	18.0%		11.8%	18.4%
第4学年	全国		2.5%	29.7%	7.4%	5.9%		32.3%	47.8%	20.4%		8.4%	12.0%
	群馬県		6.9%	39.0%	15.7%	12.8%		57.0%	81.0%	25.6%		22.6%	21.3%
第5学年	全国		3.4%	26.6%	14.5%	7.3%		45.1%	54.0%	20.4%	33.9%	9.9%	18.3%
	群馬県		24.9%	37.7%	41.3%	33.1%		85.2%	90.8%	31.1%	57.7%	36.7%	39.7%
第6学年	全国		3.5%	26.8%	15.5%	7.2%		47.8%	55.6%	21.0%	35.7%	10.5%	19.3%
	群馬県		26.6%	40.3%	40.0%	32.5%		89.2%	92.1%	32.8%	58.0%	34.4%	46.2%

(平成30年度公立小・中学校等における教育課程の編成・実施状況調査より)

5・6年3クラス（学特2人配置校）

	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	家庭	外国語	図工	体育	学活	道徳	総合	備考
5年1組	A	A	B	C	学特2	音専	B	E	教務	A	A	A	A	21.6
5年2組	B	A	B	C	学特2	音専	B	E	教務	B	B	B	B	20.4
5年3組	C	A	B	C	学特2	音専	B	E	教務	C	C	C	C	21.6
6年1組	D	D	F	学特1	学特2	音専	F	E	学特1	E	D	D	D	20.4
6年2組	E	D	F	学特1	学特2	音専	F	E	学特1	E	E	E	E	20.2
6年3組	F	D	F	学特1	学特2	音専	F	E	F	E	F	F	F	20.6

5・6年2クラス（学特1人配置校）

	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	家庭	外国語	図工	体育	学活	道徳	総合	計
5年1組	A	D	5主任	5主任	教務	A	6主任	A	6主任	B	A	A	A	3・4年音楽
5年2組	B	D	5主任	C	教務	A	6主任	B	6主任	B	B	B	B	4年理科
6年1組	C	D	5主任	C	教務	A	中兼務	中兼務	6主任	B	C	C	C	
6年2組	D	D	5主任	C	教務	A	中兼務	中兼務	6主任	B	D	D	D	

5・6年2クラス（学特1人配置校）

	担任	国語	社会	算数	理科	音楽	家庭	外国語	図工	体育	学活	道徳	総合	計
5年1組	A	A	教務	A	教務	A	学特1	A	B	学特1	A	A	A	
5年2組	B	B	B	B	教務	A	学特1	B	B	学特1	B	B	B	
6年1組	C	C	C	D	教務	A	D	C	C	C	C	C	C	
6年2組	D	C	D	D	教務	A	D	D	C	D	D	D	D	

# 小小連携・小中連携による学力向上特配に係る兼務の状況について

R2.5.1現在

	国語	算数	社会	理科	英語	音楽	図工・美術	体育	技術	家庭	合計
小→小	2		1	3	26	1	1			1	35
中→小	2	5	2	8	66	2	6	9		4	104
小→中			2	6	5	3	3		1	2	22
中→中									2	1	3
合計	4	5	5	17	97	6	10	9	3	8	164

群馬県における小学校教諭・中学校教諭の免許状所持状況

校種	小免のみ	中免のみ	両免	合計	文科省公表 H28調査(両免)
小学校	376	147	3,615	4,138	
	9.1%	3.6%	87.4%		
中学校	—	486	2,309	2,795	83.0%
	—	17.4%	82.6%		

抽出日：R2.9.30

抽出条件：小学校及び中学校の教諭が所持する小学校及び中学校の普通免許状

○小中両免を所持する割合が高い理由

- ・昭和59～平成23年度までは、小学校免許状を所持していない者に対して、採用後5年以内に免許を取得する旨の誓約をさせていた。
- ・平成24年度以降は毎年、説明会を行い、両校種の免許状取得を奨励している。
- ・教員も両校種の免許状の取得に意欲的である。
- ・採用試験においては、小中学校を一括して採用しており、両方の免許状を所持する者に対して「加点」を行っている。
- ・人事異動においては、以前から小中学校の別なく一括して行っており、教員もそのことについて理解している。